

## 令和8年度第1回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録

日時：令和8年5月19日（火）13時00分～

場所：宗像市役所 北館 2階 202会議室

出席者

（敬称略、五十音順）

| 委員    | 出欠 | 委員     | 出欠 | 委員     | 出欠 |
|-------|----|--------|----|--------|----|
| 石橋 文恵 | 出  | 石山 さゆり | 欠  | 魚住 由佳理 | 欠  |
| 岡山 元生 | 出  | 小森 雅子  | 出  | 藤谷 明美  | 出  |
| 水田 尚文 | 出  | 山田 雄三  | 出  |        |    |

○委員

●事務局

### 1 はじめのあいさつ

宗像市男女共同参画推進懇話会 副会長 山田 雄三

### 2 議事録署名人選出

○議事録署名人： 岡山委員

### 3 報告

#### （1）第4次宗像市男女共同参画プランについて

パブリック・コメント以降の経過、ホームページ掲載状況等について事務局から報告。

### 4 議事

#### （1）令和8年度スケジュールについて【資料1】

●【資料1】に沿って、今後のスケジュールや意見書作成の流れについて事務局から説明。

●3月に審議会を1回、翌年度の前半に2回程審議会を開催いただくスケジュールで進めさせていただきたい。これまでの懇話会からの意見を踏まえ、3月中にその年度の報告を行い、翌年度の前半2回の懇話会で意見書についてしっかり議論していただきたいと考えている。

●また、現委員の任期が今年度9月末までとなっている。実績報告から意見書の作成まで、同じ委員の皆様にご審議いただきたいということで、任期をこの期間にしている。

#### （2）令和7年度実施状況（重点項目）及び評価について【資料2、3】

●【資料3】に沿って、担当課及び男女課の評価について事務局から説明。

#### ①基本目標1「地域・社会活動における男女共同参画」

●地域での意識啓発の推進（事業番号1）について、審議会への女性委員の登用率は令和6年度と

比較して1.1ポイント上昇した。令和7年度より新たに、コミュニティ協働推進課と男女共同参画推進課の合同で審議会所管課のヒアリングを開始した。ヒアリングを通して課題も含めた実態把握を行いながら、女性登用の働きかけを行っていききたい。

●地域の役職への女性参画促進（事業番号3）では、コミュニティ運営協議会役員の女性比率はわずかではあるが上昇した。一方、女性自治会長の割合は令和6年度と比較して下がっている。

●事務局評価はB（ある程度達成しているが、一部課題が残る）である。

○審議会の女性委員の比率は、あくまで女性だけなのか。幼児教育など子ども関係は女性委員が多いと聞く。そうすると、子育てはやっぱり女性がするものなのか、という印象を与えかねないという心配をしている。

●女性だけではなく、女性男性両方の割合が40～60%となるよう努めている。女性が多いところは男性の割合を増やしてもらうよう、ヒアリング等を通して担当課と話をしているところである。

○防災会議の女性委員が36人中6人となっている。今、女性防災士が増えてきているのではないと思うが、その方たちの活躍の場として、防災会議の中に入っていたいただいているようなケースはないのか。

●防災会議の委員には「女性防災士」といった区分はない。いただいたご意見については、担当課と共有させていただきたい。

○せっかく資格を取ってくださっている人たちに、活躍の場があったら良いと思う。

○他市町村では、女性防災士が誕生した地区に補助金が出るといった取り組みがなされていると聞く。そういうインセンティブのような工夫も検討いただきたい。

○年齢、世代的な考慮があっても良いのではないと思う。子育て世代や高齢者など、防災・災害時に色々知っていた方が良いこともあるので、防災会議に限らず、研修のコンテンツも様々な年代や視点で出されると良いと思う。

## ②基本目標2「働く場における女性の活躍推進」

●起業を含めた自分らしい働き方・生き方について考える、女性のための将来設計セミナーや個別相談を年3回に拡充して実施した。また、AIデザイン体験講座も2回開催した。どちらも参加者の満足度は高く、実際に宗像市就労サポートセンター「むなぽーと」への就労相談につながった方もいる。

●事業所への啓発促進（事業番号6）では、令和7年度は従業員15人以上20人未満の事業所26か所を訪問。令和5度から市内事業所の従業員数を段階的に分けて訪問し、制度の周知を図っている。今回は、事業所向けの相談窓口や宗像市男女共同参画推進センターゆいの共催講座、貸出DVDの案内も新たに行った。

●「fabbit 宗像」を利用して創業した女性の数は2人で、計画期間における累計人数は8人となった。市の役職者（企画主査）以上に占める女性の割合は29.4%と、目標値である30%に着実に近づいてきている。

●事務局評価はA（達成できている）である。

○事業所訪問での事業所の反応はどういったものだったか。

●制度や相談窓口の情報提供に対しては、こういった情報がもらえて有難いという話があった。育休の代替職員など他事業所はどのように対応しているのか知りたいという声もあった。また、社員向けに研修をやりたいと思っても、研修のために社員が一度に集まるのはなかなか難しいという事業所があったため、一定期間内で受講いただける貸し出し DVD やゆいの講座の録画配信を活用いただけないかというご案内をしている。

○はじめての AI デザイン体験講座で、40 代、50 代の方の参加者の方はこれから働きたいという方が多かったのか。

●就職を目指しているという方もいたが、今現在働いていて、今後の仕事に活かそうと思っているという方もいた。

○事業番号 11 の達成度については、実施内容からすると「A」で良いのではないか。

●「A」に修正する。

○重点項目ではないが、農業をされている女性は自分が収入を得るという感覚が少ない方もいらっしゃるかと思う。それで家族経営協定という流れが出てきているかと思う。女性が実際に自分の収入としての自覚ができるぐらいのものを得ることが、自立に向けて必要だと思う。

### ③基本目標 3 「ワーク・ライフ・バランスの推進」

●性別にかかわらず家庭参画する意識の向上のため、講座等を通じて啓発に取り組んだ。「パパ&ママのための夫婦会議®の始め方講座」を開催し、夫婦の対話や協力体制づくりのきっかけとなる機会の提供を行った。

●子育て支援事業と相談事業の充実（事業番号 15）では、令和 7 年度から新たにひよこ学級（父親学級）を開催。先輩パパ（NPO 法人）による講座や父親同士の交流を行った。

●事務局評価は A（達成できている）である。

○「夫婦会議®の始め方講座」はどのような内容だったのか。

●夫婦で将来を可視化し、役割分担や両立について考える、夫婦で対話するきっかけづくりになればということで開催した。ご夫婦の講師で、子どもが生まれた後の夫婦の危機などご自身の体験談も含めたお話や、自分の本音と向き合うワーク、対話の練習方法のレクチャーなども盛り込んだ講演だった。参加者からは、相手が嫌な気持ちになるかもと考えてなかなか自分の意見が言えなかったが、これを機に伝えてみようと思った、実体験を交えた講座でとても理解しやすかった、といった声があり、夫婦の協力体制を育むきっかけを提供できたと考えている。

○高齢の方も参加されていたという話だが、やはりワーク・ライフ・バランスができていないと、女性が地域の役職に就くというのも難しくなる。女性が外に出ていったときに、俺の飯どうするんだという会話もいまだにあると聞く。家庭の中でのワーク・ライフ・バランスという視点での取り組みもやっていただきたい。

○子育て支援事業と相談事業の充実（事業番号 15）、介護保険制度の趣旨啓発と情報提供（事業番号 17）に関連して、市民の方は介護のことを相談窓口で相談できているのか。市民のニーズや困りごとをどのように把握しているのか。

●「宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定する際に、日常生活のなかで抱えている課題等を把握するため、市民向けにアンケートを行っている。

○在宅介護をするようになると色々な方が家に入るようになる。そうすると、家に来る人の対応だけでも疲れてしまうし、誰に何を相談したらいいのかも分からなくなり、当事者はとても混乱する。そういうことを相談できる窓口はここですと分かりやすく教えてもらえると良いかと思う。

#### ④基本目標4「誰もが安全安心に暮らせる社会づくり」

●DV相談窓口の認知度が令和6年度と比較して上昇している。

●女性に対する暴力をなくす運動期間に、地域イベントでの啓発ブース出店を1回行い、パープルリボンの普及啓発を行うとともに、宗像市男女共同参画推進センターでの講座を開催。令和7年度は当該講座の録画配信も行ったため、昨年度と比較して講座の参加者が増加した。

●事務局評価はA（達成できている）である。

#### ⑤基本目標5「男女共同参画社会の実現に向けた啓発」

●「男女共同参画」という言葉の認知度が令和6年度と比較してわずかに上昇しているものの、目標の80%にはなかなか近づかない状況が続いている。

●男女共同参画の視点に立った家庭教育学級の推進・充実（事業番号37）について、家庭教育学級の出前講座を6回開催し、130人の参加があった。令和6年度より回数及び参加者数が増加している。

●事務局評価は、B（ある程度達成しているが、一部課題が残る）である。

○教育現場における性教育等の推進・充実（事業番号36）で、事業としては学習指導要領に基づいた性に関する指導を行ったとあるが、本当にそれで十分なのか。今年の男女共同参画協議会の総会でDVDを観たが、その内容がとても良かった。包括的性教育の実施校、これは大阪の小中一貫教育の実施校だが、性教育に関して小学校1年から9年生までそれぞれの年代に応じたカリキュラムが実施されており、NHKで特集されていたものである。子どもたちが自然に考えて認識していくようなカリキュラムを実施されていた。そういう事例があるので、今後の検討課題としてぜひ取り組んでいただきたい。

●意見書の作成については、例年通り、各委員の意見が出された後、会長、副会長を中心に案を作成し、第2回懇話会で審議・決定としたい。

### （3）第4次宗像市男女共同参画プラン進行管理について【資料4】

●令和7年度第4回での審議を踏まえて、進行管理シートの修正を行った。主な変更点は2点。

●一つ目は実施状況報告の欄で、その年度にやった事実だけでなく、その横に成果と課題を分け

て記入できるようにした。

●二つ目は、それぞれの部署の担当者が変わっても実施すべき事業がわかるように、プランの施策が何を狙っているものなのか、どういう目的で事業を実施していくべきなのかを示しておく必要があるとの意見を踏まえ、施策の方向性の横に事業内容や達成度の判断基準を追加して記載している。

○成果を書くときは、達成度の判断基準に基づいて書くことといった指示をしっかりとしておくことが大切である。

○該当する取り組みリストで、ここまで課を全部挙げる必要があるのか。主な課の取り組みを記載して、あとは関係課というかたちでの見せ方でも良いと思う。報告の量が多すぎるのではないか。

●懇話会へ報告する内容としては、特に力を入れているところが分かるように事業をピックアップする方法もあると考えている。

○税金を使って行われた事業であるため、しっかりと評価し改善されていくにはどのような流れが最適か、という視点で検討いただきたい。

●本日頂いたご意見を踏まえて事務局で検討し、修正を行う。次回は意見書の作成まで含めた進捗管理方法を審議し決定したいと考えている。

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

岡山 元生